

カリリオン社のコスト削減・効率性改善・生産性向上の布石に貢献

カリリオン社 様



ゼロックスのサポートにより、アマゾン・プロジェクトは大成功でした。最初の6ヶ月で約60万ポンドを削減しました。そして、将来に向けた詳細な計画を描くこともできました。

カリリオンPLC社
取締役情報システム部長
スティーブ・コーナー氏

背景

カリリオン社様（以降、敬称略）は、イギリスのサポートサービスおよび建設業界の大手企業のひとつです。同社は、コンセプト設計をはじめ、設備管理やサポートサービスに至るまで、高品質でコスト効率に優れ、持続可能なソリューションを提供しています。

同社は、医療、教育や生涯教育、道路、鉄道、防衛、商業用不動産などで数々の賞を受賞しており、年間40億ポンドの売上げを上げています。その事業を支えているのは、イギリスをはじめヨーロッパ、カナダ、中東、カリブ諸国に拠点を置く5万人以上の従業員です。

課題

ゼロックスとカリリオン社の関係は、大企業の大半が抱えているような問題と同様に、無数の分散プリンターやコピー機が氾濫し、メーカーや機種が多種になっていることにカリリオン社が問題意識を持ったことに遡ります。

さらに同社では、過去何年間も行われていた現場まかせのオフィス機器の購買そのものが、機器の稼働率のばらつきや高額な運用経費、サポートしづらさの原因になっていました。

そこでカリリオン社は、ゼロックスの協力のもとで全社規模のドキュメント出力ポリシーを掲げ、コスト削減と効率性向上を目標とした『アマゾン・プロジェクト*1』を立ち上げたのです。

このプロジェクトで、ゼロックスはコピー機とプリンターのすべての出力機器を約60%削減し、3,000台あった分散出力機をプリンター800台と複合機450台に集約しました。

また、すべての出力機器をモニターするために、オンラインの資産追跡システムを導入しました。カリリオン社は、この情報を自社のオンラインデータベースの一部として利用しています。

現在まで、プロジェクトは順調に進んでいます。すべての出力機器と導入運用ポリシーは定着し、コスト削減と業務効率化を実現しています。コストや利用状況に関する正確な情報も入手できるようになりました。

そして、カリリオンは企業買収に乗り出しました。

*1「未開の領域」という意味で、出力環境のムダの排除を目的に命名されたプロジェクト。

解決策

カリリオン社がPME社を買収した際に、取締役で情報システム部長のスティーブ・コーナー氏は、プロジェクト以前のカリリオン社を思い起こし、次のように語りました。

「PME社は非常に大きな会社です。イギリス各地に30か所あるオフィスに総勢2,500人も従業員がいます。ドキュメント出力に関しては、アマゾン・プロジェクトを立ち上げる以前のカリリオンのような状態でした。たくさんの分散出力機が氾濫し、ネットワーク接続された複合機は単なるコピー機として使われ、プリンター機能は使われていませんでした。これはムダそのものでした」

契約締結後、コーナー氏とチームメンバーはすぐに行動に移り、改めてワークフローを洗い出し、在庫分析、分散出力機器の最適化を実施しました。

「ゼロックスのサポートにより、アマゾン・プロジェクトは大成功でした。最初の6か月で

約60万ポンドを削減しました。そして、将来に向けた詳細な計画を描くこともできました。これによって、PME社を買収したときも、今後の進め方を決めることができたのです」

1年後、PME社の吸収合併に成功したカリリオン社は、建設業界の競合であるモーレム社の買収に合意しました。

これについてコーナー氏は、次のように述べています。「モーレム社の買収は非常に大型の案件でした。同社は英国全土400拠点のオフィスに5,000~6,000人のITユーザーを抱えていました。プリンターやコピーが混在し、様々な種類の出力機器を使用し、消耗品の在庫もたくさんありました。しかし、これは社内で最大のITプロジェクトであったにも関わらず、予想されたリスクは極めて低かったのです。導入運用ポリシーはすでに立証され、手順も理解しており、ゼロックスとのアウトソーシングの関係をもとに、最初からこのプロジェクトの恩恵は明確にイメージできていました」

成果

PME社とモーレム社の買収は、新たに1,500台以上のプリンターやコピー機、そして複合機などの出力機器を最適配置または廃棄する必要があり、継続して利用する出力機器にはサポートやメンテナンスが必要になることを意味していました。

「私たちはゼロックスにすべてを任せています。不具合を見つけたユーザーが社内のヘルプデスクに連絡し、そこからゼロックスに問題を報告することができ、直接ゼロックスに電話をすることもできます。簡単なことで」とコーナー氏は言います。

さらにゼロックスは、最適配置を継続的に維持コントロールするため、出力機器の再配置や移動も実施します。英国全土の各拠点で『一時的な設置』が40%を占めるカリリオン社では、プリンターや複合機の再配置の作業は大変な作業です。

「ゼロックスの支援によって、すべてが効率的に機能しています。単にメンテナンスや分散出力機器の管理だけでなく、各機器をトラッキングし、出力枚数をモニターすることで、利用状況が適正か否かを特定し、さらに信頼性やパフォーマンスをも測定してくれます。価値のあるサービスです」とコーナー氏は言います。

今後の展望

「数年前にゼロックスと構築したサービスモデルは、今でも十分に機能しています。時間が経って、そのサービス内容が証明されたということです。ゼロックスの実力も同様に実証されました。今後、さらなる企業買収も視野に入れていますが、どこが対象になるのか現時点ではわかりません。しかし、これだけは確信を持って言うことができます。今後何が起ころうと、ゼロックスが私たちの助けになってくれるということをと、コーナー氏は締めくくりました。

Fuji Xerox Global Services について

これまでの実績に基づく豊富な経験とノウハウを有する当社のプロフェッショナルが、グローバルに活躍するお客様と密接に連携。お客様のビジネスを成功に導くため、ドキュメントプロセスを継続的に改善・最適化していきます。その結果として、業務プロセスの変革を通じた生産性の向上をはじめ、出力コスト削減、環境への貢献、セキュリティの向上など、企業の経営力を高める様々な効果が期待できます。

サマリー

<<課題>>

- ドキュメント出力におけるコスト削減と効率性向上を、全社規模で実現する
- PME社とモーレム社を買収したことで、分散出力機器に対する利用状況の適正化、運用、サポートの標準化を目指し、各種メーカーの機種が混在する中で最適配置に再び取り組まなければならない

<<解決策>>

- 既存機器の活用、廃棄、移動、代替を決定するための洗い出しと分析
- 出力環境の構築やトレーニング、社内のコミュニケーションなどを含むサービス展開
- オンライン資産追跡システムによる効率的な再配置や最新の出力資産管理
- 出力機器のレポートや分散出力機器の最適配置を含む、継続的な分散出力機器の管理

<<成果>>

- 分散出力機器を約60%削減。3,000台以上のプリンターとコピー機を小型プリンター800台と複合機450台に集約して、最初の6か月で60万ポンドのコスト削減を達成した
- 実施したプロジェクトが将来に向けたコスト削減の布石となり、PME社やモーレム社への展開時には、管理負荷の軽減や全体費用の抑制、さらには統制や効率性の強化につながった

富士ゼロックス株式会社

Fuji Xerox Global Services についての情報・お問合せはインターネットでご確認ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/solution/gs/>

